

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 抗ヒトポドプラニン, モノクローナル抗体 (LpMab-12)

供給者情報

会社名 : ゼノジェンファーマ株式会社

住所 : 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1番地の1

担当部署 : 医薬事業部

電話番号 : 024-947-8503

FAX : 024-947-8507

2. 危険有害性の要約

GHS分類 物質又は混合物の分類

GHS分類基準に該当しない。

絵表示

注意喚起語 なし

危険有害性情報

GHS分類基準に該当しない。

注意書き-(安全対策)、(応急措置)、(保管)、(廃棄)

非該当

3. 組成、成分情報

純物質もしくは混合物 混合物

成分名	CAS番号	重量パーセント	分子量	化審法官報 公示番号	安衛法官報 公示番号
水	7732-18-5	<99	18.02	N/A	N/A
塩化ナトリウム	7647-14-5	<1	58.44	(1)-236	N/A
りん酸水素二ナトリウム	7558-79-4	<0.2	141.96	(1)-497	N/A
抗体	N/A	<0.2	N/A	N/A	N/A
りん酸二水素カリウム	7778-77-0	<0.05	136.09	(1)-452	N/A
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.05	65.01	(1)-482	N/A
塩化カリウム	7447-40-7	<0.05	74.55	(1)-228	N/A

不純物または安定化添加剤 アジ化ナトリウム0.05% (防腐剤)

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等の皮膚への付着、ガスの吸入をしないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

取扱者のばく露防止策

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

適切な技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

保管上の注意事項

混合接触させてはならない化学物質

強酸化剤

保管条件(適切な保管条件及び避けるべき保管条件)取扱い

直射日光を避け、冷凍庫(-20°C)に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

ばく露防止

ばく露限界値

地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。

生物学的指標等の許容濃度

可能な限りばく露を軽減するための設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

1. 局所排気または呼吸用保護具。
2. 保護手袋。
3. 保護衣。
4. 安全シャワー。
5. 安全ゴーグル。
6. 顔面シールド。
7. 洗眼器。

9. 物理的及び化学的性質

形状

性状 液体
臭い データなし
pH データなし
凝固点・融点 データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲 データなし
引火点 データなし
自然発火温度 データなし
燃焼又は爆発範囲
上限: データなし
下限: データなし
蒸気圧 データなし
蒸気密度 データなし
比重・密度 データなし
溶解性 データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 推奨保管条件下で安定。
反応性 データなし
避けるべき条件
高温と直射日光
混触危険物質
強酸化剤
危険有害な分解生成物
一酸化炭素(CO), 二酸化炭素(CO₂), 窒素酸化物(NO_x)

11. 有害性情報

急性毒性 データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性 データなし
生殖細胞変異原性 データなし
発がん性 データなし
生殖毒性 データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露) データなし

吸引性呼吸器有害性 データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 利用可能な情報はない
残留性・分解性 利用可能な情報はない
生体蓄積性 利用可能な情報はない
土壤中の移動性 利用可能な情報はない
オゾン層への有害性 利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

安全で環境上望ましい廃棄の方法
廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
容器・包装の適正な処理方法
廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

国際規制 該当しない。
国連番号 非該当
品名(国連輸送名)非該当
国連分類 非該当
副次危険性 非該当
容器等級 非該当
海洋汚染物質 非該当

15. 適用法令

消防法 非該当
毒物及び劇物取締法 非該当
労働安全衛生法 非該当
PRTR法 非該当

16. その他の情報

引用文献及び参照HP

NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 等

記載内容の取扱い上の注意

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
また、注意事項は通常の実施を前提としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。